

広報

にしあいづ

12

2025

No.806



もくじ — Contents —

P 2 特集 西会津ふるさとまつり

P 6 まちの話題

西中 光桐祭、ラジオ体操講習会、
高齢者・障がい者合同スポーツ大会 ほか

SNSで情報発信中



Facebook



LINE

登録をお願いします！



第40回 西会津の文化と産業祭 西会津ふるさとまつり



今年で40回目を迎えた西会津ふるさとまつりが10月25日、26日の2日間、さゆり公園をメイン会場に開催されました。

今年も、恒例の「桐ゲタ投げ全国大会」や「にしあいづ紅葉ウォーク」、「さゆりラフ&ミュージックフェス2025」、ご当地ヒーローの「永神デナーショー」、福島レッドホープスの選手による野球教室やファン感謝祭、また、町の新米や特産品などの豪華賞品が当たる「西会津ふるさとじゃんけん大会」など多彩なイベントが行われ、町の魅力を町内外に発信しました。

また、西会津一うまい米の試食や西会津産新米・ミネラル野菜などの販売、「新そばまつり」、「至福のスイーツマウンテン」などの出店もあり、町内外から訪れた大勢の家族連れなどが町自慢の食を味わいました。

今月号では、町の魅力がギュッと詰まったまつりの様子を写真で振り返ります。

各種競技・コンテスト

表彰受賞者 〔敬称略〕

【第26回桐ゲタ投げ全国大会】

小学生男子の部〔7歳〕

- ①佐藤蓮信（2歳81㌫・滑沢）
- ②五十嵐一太（1歳74㌫・新潟県長岡市）

小学生女子の部〔7歳〕

- ①井関 滯（1歳28㌫・新潟県五泉市）

少年男子の部〔13歳〕

- ①加藤瑠輝（6歳・6町内）
- ②猪俣楓太（2歳17㌫・道目）

一般女子の部〔13歳〕

- ①ランジャンヨシコ（3歳2㌫・千葉県浦安市）
- ②河合穂乃花（2歳12㌫・西郷村）

一般男子の部〔13歳〕

- ①井関広大 **日本新記録**（13歳74㌫・新潟県五泉市）
- ②星 光輔（9歳87㌫・4町内）

【高齢者・障がい者作品展】

ものづくりの部・大賞

伊藤由美子
（タペストリー「七福神」・出ヶ原）

芸術文化の部・大賞

酒井誠明（大皿（鶴）・9の1）

介護サービス利用者の部・大賞

介護老人保健施設 憩の森
（憩の森カルタ）

特別賞・福島県老人クラブ連合会長賞

須藤マレ子（ビニールかご（紫）・安座）

特別賞・日本赤十字社福島県支部長賞

渡部シズエ（若葉（書）・黒沢）

【子育てつばやき川柳】

大賞 江川 貴（9の2）

「AIに 妻の地雷の 場所を聞く」

【西会津ーうまい米コンテスト】

最優秀賞 片岡元次（塩）

優秀賞 長谷沼勉（高目）、斎藤啓二（上野尻）、
鈴木市喜（中野）、橋谷田敬三（漆窪）

奨励賞 橋谷田ファーム株式会社

（9㌫に関連記事）

New!

西会津人常識チェック



New!

スケートボード体験会



New!

ジビエ肉販売コーナー



会場の様子



がんばれ！
デナー！



第41回 町高齢者・障がい者合同スポーツ大会



10月3日、第41回 町高齢者・障がい者合同スポーツ大会がさゆり公園多目的広場で開催されました。

町内5地区対抗で行われた本大会は、約300人が参加し、趣向を凝らしたユニークな種目で競い合いました。会場では、選手の好プレー・珍プレーが出るたびに声援や笑い声が響きました。大会の結果は次のとおりです。

優勝＝奥川地区、準優勝＝新郷地区



令和 7 年秋季消防訓練・文化財防火合同消防訓練



10月19日、野沢地区の遍照寺で令和7年秋季消防訓練・文化財防火合同消防訓練が行われました。

この訓練は、先人が遺した貴重な財産を火災から守るとともに、迅速かつ的確な消防技術の習得を目的に実施され、町消防団や西会津消防署、消防支援隊などの関係者ら約70人が参加しました。

訓練は、遍照寺付近の建物から出火したとの想定の下、住民による119番通報訓練や寺内の文化財搬出訓練のほか、消火器を使った初期消火訓練や放水訓練などを行いました。

西会津中学校 光桐祭

10月18日、第24回目となる西会津中学校の文化祭「光桐祭」が開催されました。

「桜梅桃李～この一瞬に、君だけの彩りを～」をテーマに、合唱発表会をはじめ各学年ごとの総合学習発表や演劇のほか、有志によるダンスなどが披露されました。

生徒一人一人の個性が花開いた光桐祭は、大盛況となりました。



ラジオ体操講習会



10月19日、ラジオ体操講習会がさゆり公園体育館で開かれました。

本講習会は、ラジオ体操を正しく実践することで運動不足解消のきっかけとし、健康づくりへ繋げることを目的に平成30年から実施しており、今回で7回目です。

当日は、NPO 法人全国ラジオ体操連盟指導委員のさくらだけいこ 桜田敬子先生といつかいちゆうこ 五日市祐子先生を講師に迎え、参加者の皆さんはラジオ体操の一つ一つの動きを丁寧に学び、しっかりと体を動かしました。

ZEN 大学地域連携プログラム 成果発表会



9月25日、ZEN大学による地域連携プログラムの成果発表会が奥川みらい交流館で行われました。

本プログラムは、ZEN大学の学生たちが約1ヶ月間にわたり奥川地区に滞在し、「生きる」と「生かされる」をテーマに地域の暮らしや自然・人との関わりなどさまざまな体験活動を行ったものです。

成果発表では、学生たちから「人とのつながりが地域を支えている」「便利さのなかでは見えなかった生きる力を感じた」など、滞在中の学びや気づきについて発表がありました。学生たちは、「高齢化が進む地域での暮らし」を実際に体験することで、より理解を深めたようでした。

◀奥川地区での体験活動の様子

第12回 西会津^{いち}うまい米コンテスト



10月15日、第12回 西会津^{いち}うまい米コンテストの審査会が開かれました。今回は「コシヒカリ部門」に60点、「こだわりの品種部門（コシヒカリ以外の町産米）」に8点の計68点の出品があり、食味分析計や実食の審査により受賞者を決定しました。

10月25日、西会津ふるさとまつり内で表彰式が行われ、最優秀賞に輝いた片岡元次さん（下写真右から2番目）らに表彰状が贈られました。式では、薄町長から「水不足などの厳しい状況の中でおいしいお米を作ってくださり、ありがとうございます。受賞を糧としてさらにうまい米づくりに向けて頑張ってください」とあいさつがありました。

第1回 西会津町ジビエ利活用検討会



10月17日、町公民館で第1回 西会津町ジビエ利活用検討会が開催されました。

検討会は、町猟友会や町内飲食店、農林水産省や福島県などの関係団体で構成され、町内野生鳥獣の肉（ジビエ）の安全かつ持続可能な利活用や、ジビエを活用した地域振興の推進を図ることを目的として設置されました。検討会では、一般社団法人日本ジビエ振興協会 代表理事を務める藤木徳彦^{ふじきのりひこ}シェフから、全国の自治体や企業、学校給食でのジビエの取り組みなどについて紹介があり、イノシシやシカ、ツキノワグマのジビエ料理の試食が行われました。

総合計画づくりのための町民懇談会を開催



町では本年2月から、町民の皆さんと一緒に令和8年度を初年度とする新たな総合計画づくりに取り組んでいます。

今回、素案がまとまったことからより多くの皆さんに計画づくりに参加してもらうため、10月15日から22日にかけて町内5ヶ所で町民懇談会を開催しました。

懇談会では、合計76人が参加し、素案に関する意見が出されたほか、未来のまちづくりについて多くの議論が交わされました。

西会津町クマ被害対策本部を設置



10月31日、西会津町クマ被害対策本部会議が町役場で開かれました。この対策本部は、クマによる人身被害が発生する恐れがあることから被害の防止対策を迅速かつ適切に実施するため、町猟友会や西会津交番、西会津消防署などの関係者らを構成員とし設置しました。

会議では、町の担当者よりクマの捕獲状況や対策の現状についてが報告され、クマを寄せ付けない環境の改善や監視体制・出沒時対応の強化など、当面の被害防止対策について協議しました。

第44回 町長杯争奪 親善ゲートボール大会



10月17日、第44回町長杯争奪 親善ゲートボール大会がさゆり公園ふれあい広場で開催されました。

この大会は、高齢者の健康増進と相互の親睦を図ることを目的に町主催で開催しています。

秋晴れとなった大会当日、選手の皆さんは「ナイスボール！」と声を掛け合いながら試合を楽しみ、15チームが参加したなか原町チームが見事優勝しました。

西会津お米産地ツアー 2025



10月13日から14日までの2日間にかけて、町内で「西会津お米産地ツアー 2025」が開催されました。

このツアーは、主に首都圏で活躍する食に関連する各界の著名人を招待し、西会津産米やミネラル野菜、菌床キノコなどの栽培の様子を実際に見てもらうことで、新たな販売ルートの拡大や新商品開発に繋げるなど、地場産品の振興と地域産業の活性化を図ることを目的としています。ツアーには約20人が参加し、橋谷田ファーム株式会社の田んぼや雪室貯蔵施設の見学、町関係者らとの意見交換が行われました。

西中町民図書館 新刊オススメ本

※休館日：毎週月曜日、
第3日曜日



『医師が教える温泉の教科書』
[早坂 信哉 著]
朝日新聞出版

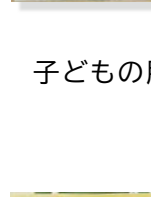
25年にわたり、お風呂や温泉について第一線で研究してきた医師である筆者が、温泉の作用・健康効果をわかりやすく解説しています。

これまで「湯治」と言うと、温泉宿で1週間以上宿泊療養することが一般的でしたが、最新の研究で、日帰りでも一定の効果があることがわかりました。

温泉療養に適した病気や症状のほか、10種類ある療養泉の特徴を擬人化したイラストと共に紹介しています。温泉宿での理想の過ごし方や泉質がわかる全国温泉地リストも付いています。この冬は、温泉で疲労回復をしてみたいはいかがですか。



『エピクロスの処方箋』
[夏川 草介 著]
水鈴社



『専門医が教える子どもの肌トラブル解決 Book』
[伊藤 とうこ 著]
自由国民社



『人生後半にこそ読みたい秀歌』
[永田 和宏 著]
朝日新聞出版



『どら蔵』
[朝井 まかて 著]
講談社

町民ギャラリー 日本陶芸の会

今月は、齋藤 征子さん（6町内）の作品です。



作品紹介

「花器（2点）、どんぶり（1点）
漬物落とし蓋（2点）」

陶芸教室に入り、何を作ったらいいか迷いました。花器は、アレンジメントフラワーを始めたから自分で作った花器に花を活けてみたくなり作ってみました。

漬物落とし蓋は、少人数の家庭で、すこしばかりの漬物をつけるのに小さい重石がなく、これも作ってみようと思い作りましたが大成功でした。とても重宝して使っています。

西会津小学校の5年生が通学合宿を行いました！

10月8日から10日までの2泊3日、公民館を宿舎として西小5年生の児童13人が「通学合宿」に参加しました。

初日に行われた開講式では、参加児童やスタッフの自己紹介を行い、続いて行われた栄養教室では、3日間の食事の献立を決めました。

1日目と2日目は、近くのスーパーで食事の材料を購入し、班に分かれて、朝食と夕食を自分たちで作りました。



また、レクリエーションとして、2日目に“ポッチャ大会”、3日目は“モルック大会”を開き、全員で楽しみました。

児童たちは、買い出しや調理、清掃に苦労しながらも、みんなで協力し合い「食事作りはすごく大変だなと思った」「今度は料理作りを手伝いたい」「また公民館に泊まりたい」と話していました。

児童たちは、家族から離れ共同生活をする中で、自ら考え行動する姿勢を養い、また、協力することの大切さを学ぶことができたようです。



人が集まる元気な町、西会津

第34回西会津町 子どもの主張大会

西会津町立小・中学校、西会津町立小・中学校、西会津町立小・中学校、西会津町立小・中学校

令和6年度発表
矢部 乃衣さん

令和6年度発表
物江 輝輝さん

令和6年度発表
足立 爽輝さん

彼らが語る想いとは
彼らが想う西会津町とは

どなたでも聴講可能です。子ども達の想いを聴いてみませんか？

日にち：令和7年12月6日（土）
時間：午後1時30分開演
場所：西会津中学校多目的ホール
発表者：西会津小児童・西会津中学生・西会津高校生

主催：西会津町青少年健全育成町民会議 西会津町教育委員会（問合せ先）西会津町公民館 45-3244



1月9日（金）開催 新春交歓会を開催します

町では、新しい一年を迎えるにあたり、町民の皆さんが一堂に会して輝かしい「西会津町」の未来を語り合い、互いの親睦を深めることを目的に「新春交歓会」を開催します。ぜひご参加ください。

- ◆開催日 令和8年1月9日（金）
- ◆会場 公民館大ホール
- ◆申込期限 12月19日（金）
- ◆会費 1人2000円（当日にご持参ください）
- ◆申込方法 申込用紙は町役場または町公民館、新郷連絡所、奥川みらい交流館にあります。必要事項を記入の上、期限までに申し込みください。

＜申込・問い合わせ先＞ 町公民館 ☎45-3244



町長コラム

その46



町長3期目就任から、3ヶ月が経過。この間、就任のあいさつ回りやさまざまな会議や行事、各種イベントなどであつという間の3ヶ月であつた。

そんな中で、2つ嬉しいことがあつた。

1つは、令和5年7月から湯湯管の破損により沸かし湯で、ご迷惑をかけておりましたロータスインの新しい源泉がさまざまな検査の結果、全ての項目に異常なしの判定を受け、去る10月4日に温泉を再開できたことである。今、町内外の利用者の皆さんに喜んでいただいております、ホッとしている。

2つ目は、野生鳥獣肉（ジビエ肉）の活用に向けた準備作業として「第1回西会津町ジビエ活用検討会」を開催できたことである。検討会のメンバーは、猟友会・町内の飲食店・商工会・観光交流協会などの関係団体に、アドバイザーとして日本ジビエ振興協会、オブザーバーとして東北農政局および福島県生活環境部、会津地方振興局、会津農林事務所や会津保健所の担当者、総勢31人の出席によりスタートした。

その目的は、平成23年3月に発生した東日本大震災による原発事故の影響により、福島県内全域に出荷制限が課されているジビエ肉を町の資源として活用し、地域振興を図るため出荷制限の解除と特産品としての可能性について検討し、その実現を目指すとしている。

検討会では、野生鳥獣の捕獲状況やジビエの利用状況の報告があり、実際に3種類の肉（クマ・イノシシ・シカ）やソーセージ、スープなどを試食し、ジビエ肉に対する理解を深めるとともに、今後に向けての取り組みを理解していただいた。

また、先日開催した文化と産業祭（ふるさとまつり）には、町民の皆さんにジビエ肉を食していただくため、岩手県大槌町からキッチンカーで応援いただくなど目的の達成に向け大きく前進した。ジビエ肉が注目されている今、利活用の早期実現に向け全力で取り組んでいく。

西会津町長 薄 反喜

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。



さすけねえ輪の健康づくりを視察 内堀雅雄県知事が来庁

10月21日、内堀雅雄福島県知事が来庁し、町の健康づくり事業について視察しました。

当日は、あいばせ体奏・健康運動推進員の皆さんが「さすけねえ輪音頭」を披露し、曲の途中から内堀知事も一緒に体を動かすなど笑顔で体操をしました。内堀知事は、「さすけねえ輪音頭は、曲も歌詞も踊りも西会津オリジナルで、とてもすてきな体操です。私も、さすけねえ輪を西会津から県全体に広げていけるように頑張ります」と話しました。



町の顔として、魅力を発信します！

5代目「にしあいづ観光クルー」が決定

10月21日、新たに決まった5代目「にしあいづ観光クルー」の3人としあいづ観光交流協会の清水幹久会長が、就任のあいさつのため町役場を訪れました。

今回就任した西道紗恵さん、落合悠さん、宇内将仁さんは薄町長にあいさつし、観光クルーとしての抱負や意気込みを語りました。3人の任期は令和10年3月31日までです。西会津町の顔としてPR活動を行い、魅力を広く発信していきます。



▲写真左から清水会長、西道さん、落合さん、宇内さん、薄町長

就学前の子どもを持つ保護者の皆さんへ

令和8年度こゆりこども園の入園申込を受け付けます



町の認定こども園「西会津町こゆりこども園」では、来年4月からの入園申込を受け付けています。※現在「こゆりこども園」を利用している園児については、園を通してお知らせします。

新たにこども園を利用するには、子どもの年齢と保育を必要とする理由や保育の必要量を判断するために町の「教育・保育給付認定」を受ける必要があります。また、入園判定については、保育の必要性や家庭の状況などを踏まえて町が判定し、その結果については後日お知らせします。



◀ 町の子育て応援サイトからも確認できます

＜提出・問い合わせ先＞

子育て支援センター
☎45-4332

◆入園できる児童

- 生後6ヶ月～就学前の児童
- ※基準日：令和8年4月1日
- ※0歳児については生後6ヶ月以降
- ※年度途中の入園は3ヶ月前までに申込みしてください。

◆申込期限

12月19日（金）まで



◆必要書類

- 施設型給付費・地域型保育給付費等教育・保育給付認定申請書
- 保護者の就労証明書
- マイナンバー確認用紙（令和7年1月2日以降に転入した場合のみ）
- ※申請書は町ホームページからダウンロードまたは子育て支援センター・福祉介護課の窓口で受取りできます。





建設水道課からのお願い

冬期間の生活に関するお知らせ（除雪・水道）

除雪作業に対するご理解とご協力をお願いします



◆路上駐車は絶対にしないでください

1 台でも路上駐車があると、そこから先の除雪作業が行えない場合があります。夜間の路上駐車は絶対しないようお願いします。

◆除雪時の作業音にご理解ください

通勤や通学に支障が出ないよう、深夜から作業を実施していますので、除雪時の作業音はご理解ください。

◆屋根からの雪は各家庭で片付けてください

屋根からの落雪や雪下ろしで道路に雪が落ちる場合は、通行の支障とならないよう各家庭での処理をお願いします。

◆障害物には赤い目印を付けてください

除雪作業により破損する恐れのある構造物などは、赤い布切れなどで目立つよう表示してください。

◆スノーボールの保全にご協力ください

除雪作業を安全に行うため、道路の路肩に赤白のスノーボールを立てています。除雪作業の「道しるべ」ですので、倒れているボールを発見した場合は、立て直しにご協力をお願いします。

◆道路沿い樹木の管理にご協力ください

初雪時の湿雪は、枯れ枝や老木を倒しやすく、道路をふさぐ恐れがあります。除雪作業や緊急車両の通行に支障が出ないよう、早めの伐採・枝打ちにご協力をお願いします。

〈問い合わせ先〉

建設水道課 管理係 ☎ 4 5—4 5 3 0



冬期間の水道使用料と使用上の注意点をご確認ください

◆冬期間の水道料金について

12 月分～3 月分の水道料金は積雪などにより検針が困難になるため、9 月～11 月の平均使用水量をもとに算定した概算額を請求します。その後、4 月に検針を再開してから過不足分を精算しますので、ご了承ください。

◆冬期間の水道使用の注意点

凍結防止のため、次のことを確認してください。

- ①電熱ヒーターの電源を入れる（電熱ヒーターの点検もしてください）
- ②不凍水抜栓の作動確認を行う（雪による破損防止のため、雪囲いもしてください）
※古いものは新しくしてください
- ③メーターボックスを保温する（メーターボックスに布や発泡スチロールを入れる）

◆漏水の点検について

水道管の老朽化や凍結などにより、気付かないうちに宅内で漏水している場合があります。

昨シーズンも凍結による事故が多く見られました。その場合、水道料金が高額になりますので、時々、メーターや家の周りを確認してください。

※漏水を発見した場合は、町指定の給水装置工事事業者か建設水道課に連絡をお願いします。

◆冬期間に家を留守にする場合は…

降雪前に水道メーター休止の手続きを行ってください。降雪後に手続きを行う場合はメーターボックス周辺の除雪をお願いします。

凍結により水道管が破裂したり、凍結防止のために水道を出したままの状態にすると、水道料金に反映され、検針再開時に高額な水道料金が請求される場合がありますので、不凍水抜栓や電熱ヒーターの設置をお勧めします。不凍水抜栓等の設置については、建設水道課または町指定の給水装置工事事業者にお問い合わせください。

〈連絡・問い合わせ先〉

建設水道課 上下水道係 ☎ 4 5—4 5 3 4

お知らせ INFORMATION

ケーブルテレビ さゆりチャンネル 12 月の放送案内

12 月議会定例会を生中継します。年末は下半期ニュースの再放送など、特別編成でお送りします。

〈問い合わせ先〉

（二社）西会津ケーブルネット
☎ 45—4 4 6 1



冬眠前のクマに 注意しましょう

これからの時期は、クマが冬眠のためにエサを求めて活発に活動します。次のことに注意しましょう。

- ◎ 早朝・夕方の農作業や散歩、森林作業などで山林へ入る際は、クマよけ鈴など音の出る物を身につけましょう。
- ◎ エサとなる柿や栗を狙い、集落内やその周辺に出没する恐れがあるため、収穫を行うか、利用する見込みのない果樹木は伐採するか枝を落としてみましょう。
- ◎ 畑の野菜は早めに収穫し、誘因物となる米ぬかや生ごみは屋外に放置せず、適切に処分しましょう。

〈問い合わせ先〉

農林振興課 林政係
☎ 45—4 5 3 1



高額療養費支給 申請について

高額療養費は、1 ケ月の医療費の自己負担額が一定の金額（自己負担限度額）を超えた部分を「高額療養費」として支給する制度です。

この給付を受けるためには申請が必要です。

◆申請に必要な書類など

○ 国保加入者の場合

- ・ 資格確認書等
 - ・ 領収書（原本）
 - ・ 世帯主の通帳
- ※ 原則として世帯主の口座に振り込みとなります。

○ 後期高齢者医療 加入者の場合

- ・ 資格確認書等
- ・ 通帳

※ 申請により、一度口座を登録すると、次回から限度額を超えた額が自動的に振り込まれます。

〈申請・問い合わせ先〉

健康増進課 国保係
☎ 45—4 5 3 2

除排雪費用助成 事業のお知らせ

町では、除雪が困難な高齢者世帯などに除排雪費用の一部を助成しています。

◆助成金額（給付券）

1 世帯あたり 1 万円

◆対象世帯

町内に住所があり、町民税が非課税で、次のいずれかに該当する世帯

- ① 高齢者世帯
世帯全員が 75 歳以上高齢者の世帯（一人暮らし世帯を含む）など
- ② 障がい者世帯
世帯全員が 1 級および 2 級の身体障害者手帳または療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている世帯（一人暮らし世帯を含む）など
- ③ 母子世帯など
女性と中学生以下の子どもだけの世帯など

◆注意事項

○ 該当が見込まれる世帯には別途通知します。

除排雪費用助成 事業登録事業者 を募集します

除排雪費用助成事業において、助成対象世帯からの除雪依頼を受け、除雪作業を行う事業者または個人を募集しています。

登録を希望する場合は、登録などの書類を郵送します。詳細は左記まで問い合わせください。

※ 昨年度までに登録した場合は新たに登録する必要はありません。

〈問い合わせ先〉

福祉介護課 福祉係
☎ 45—2 2 1 4



带状疱疹ワクチンの定期接種はお済みですか？

本年度、带状疱疹ワクチン接種対象となる人へ、4月に予診票と接種の案内を配付しています。接種期間以降に接種すると、全額自己負担となる場合がありますので注意してください。

～令和8年3月31日

パターン① 生ワクチンの場合

1回皮下注射／自己負担額 2,000 円

パターン② 組換えワクチンの場合（2回接種）

1回目

1回筋肉内注射

自己負担額 10,000 円

2回目

1回筋肉内注射

自己負担額 10,000 円

〈問い合わせ先〉

健康増進課 保健係 ☎ 4 5 — 4 5 3 2

なお、ワクチンの種類によって接種方法や接種回数・自己負担額が異なります。

接種期間：令和8年3月31日（火）まで

令和8年4月1日～

全額自己負担（約 9,000 円）

※接種間隔を2ヶ月程度空ける必要があるため、1回目は遅くとも1月31日までの接種が望ましい。
※4月1日以降に接種をした場合は全額自己負担（約 22,000 円 / 1回）となるので注意してください。

小・中・高校生の皆さんへ

英語検定料補助のお知らせ

町では、児童生徒の英語力向上と主体的な学びを応援しています！補助を活用して、英語検定にチャレンジしてみませんか？

◆対象者

- 西会津小（5～6年）・中学校の児童生徒
- 町内在住で、町外の中学校に通学している生徒
- 町内在住の高校生

◆補助金の交付額

日本英語検定協会が定める検定料を全額補助します。（申請は年度ごとに1回まで）



◀詳しくはこちら



〈申請・問い合わせ先〉

学校教育課 学校支援係 ☎ 4 5 — 2 2 1 6

年末年始の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

一人一人が交通安全意識を高め、交通ルールの遵守、正しい交通マナーを習慣付け、交通事故防止に取り組みましょう。

■運動期間 令和7年12月10日（水）から
令和8年1月7日（水）まで

■運動スローガン

「てをあげて くるまにおしらせ ぼくはここ」

■運動の重点

- ①道路横断中の交通事故防止
- ②夕暮れ時や夜間の交通事故防止
- ③飲酒運転の根絶
- ④高齢者が関与する交通事故防止
- ⑤自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守



精密検査は必ず
受けましょう

健（検）診結果に「要精検」の項目があった人は、速やかに医療機関で精密検査を受けましょう。

受診の際は、結果通知書、医療機関宛てのハガキ、資格確認書等を忘れずに持参してください。

精密検査を受けるまでが健（検）診です。自分で判断せず、必ず受診しましょう。

〈問い合わせ先〉

健康増進課 保健係
☎ 45 — 4 5 3 2

子どもの医療費
助成について

町では、子どもたちが安心して医療を受けられるように、子育て支援策として医療費の助成を行っています。

子どもの医療費については、医療機関などの窓口で「子育て医療費サポート事業受給

資格者証」の提示によって無料となります。
なお、支払った医療費がある場合は、役場窓口に戻還の申請をしてください。

詳しくは、左記まで問い合わせください。

〈申請・問い合わせ先〉

健康増進課 国保係
☎ 45 — 4 5 3 2

マイナ保険証を
利用しましょう！

マイナ保険証とは、保険証利用を申し込んだマイナンバーカードのことです。

◆マイナ保険証のメリット

- ・本人の同意により、初めての医療機関や救急現場でも、自身の医療情報が医師に共有され、より適切な医療が受けられます。
- ・医療費が高額になる場合も申請なしで限度額を超える支払いが不要になります。

〈問い合わせ先〉

健康増進課 国保係
☎ 45 — 4 5 3 2

「漢字検定」に
チャレンジ！

町役場で漢字検定を実施します。町民の人は誰でも受検することが出来ます。

◆日時

1月31日（土）
午前8時45分から

◆会場

町役場 3階大会議室

◆申込期限

12月22日（月）まで

詳しくはこちら▶



〈申込・問い合わせ先〉

学校教育課 学校支援係
☎ 45 — 2 2 1 6

町民ミニミニ美術館

石川 宣彦(本町)写真展

場所：町役場 町民ホール
開催期間：～1月中旬まで

気軽に立ち寄りください。

農業使用廃棄物は
産業廃棄物です

農業で使用した廃棄物は産業廃棄物になります。家庭ごみとして、ごみステーションに出すことは出来ません。廃棄する場合は、産業廃棄物処分業者へ依頼してください。

●具体的な産業廃棄物

ビニールシート、ポリタンク、一斗缶、波板、ホース、苗箱、肥やし袋、農業用資材、農薬、農薬の瓶、マルチシートなど

〈申込・問い合わせ先〉

町民税務課 町民生活係
☎ 45 — 2 2 1 5

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。



12月の休日当番医

日	医療機関名	電話番号	市町村
7日(日)	あらい内科循環器科クリニック	0242 (29) 1133	会津若松
	あいづ整形外科リハビリテーションクリニック	0242 (28) 1205	
	佐原病院	0241 (22) 5321	喜多方
	喜多方市地域・家庭医療センター	0241 (24) 5320	
14日(日)	渋川クリニック	0242 (23) 7022	会津若松
	山口皮ふ科医院	0242 (28) 9119	
	有隣病院	0241 (24) 5021	喜多方
	あきもと整形外科クリニック	0241 (21) 1515	
	平野医院	0242 (83) 2243	
21日(日)	クリニック荒木	0242 (32) 9229	会津若松
	穴沢耳鼻咽喉科医院	0242 (29) 0033	
	県立医科大学会津医療センター	0242 (75) 2100	
	いとう眼科	0241 (22) 5900	喜多方
	荒井医院	0242 (83) 2224	会津坂下
28日(日)	清田内科循環器クリニック	0242 (85) 6881	会津若松
	石田眼科医院	0242 (27) 0858	
	佐原病院	0241 (22) 5321	喜多方
	入澤病院	0241 (22) 0267	
31日(水)	遠山眼科医院	0242 (83) 2011	会津坂下
	有隣病院	0241 (24) 5021	喜多方

12月の休日歯科医

日	医療機関名	電話番号	市町村
7日(日)	瓜生歯科医院	0242 (22) 2818	会津若松
14日(日)	白虎歯科クリニック	0242 (25) 1110	
21日(日)	渡部歯科医院	0242 (26) 3762	
28日(日)	大塩歯科医院	0242 (38) 4567	

【注意】休日当番医・歯科医は変更になる場合があります。ご確認の上ご利用ください。

特設人権相談

- ◆日時
12月4日(木)
午前10時～午後3時
- ◆場所
町公民館
- 〈問い合わせ先〉
町民税務課 町民生活係
☎ 45-2215

診療所の土曜・12月整形外科診療日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

○ 土曜診療日
○ 整形外科診療日(予約制)
西会津診療所 ☎ 45-4228

納税・公共料金

- ◆水道料金・下水道料金
- ◆ケーブルテレビ使用料
- ◆インターネット使用料
納期限 12月10日(水)
- ◆固定資産税第4期
- ◆国民健康保険税第6期
納期限 12月25日(木)
- ◆後期高齢者医療保険料第5期
- ◆介護保険料第7期
納期限 1月5日(月)

心配ごと相談

- ◆日時
12月8日(月)、26日(金)
各日午前9時～正午
- ◆場所
老人憩の家
- 〈問い合わせ先〉
町社会福祉協議会
☎ 45-4259

消費生活出前講座を開催しませんか

喜多方市消費生活センターでは、振り込め詐欺や悪質商法などの被害未然防止と消費生活に関する情報や知識を深めてもらうため、消費生活相談員を講師として派遣し、出前講座を開催しています。本講座では、自治区や学校などに消費生活相談員が直接出向き、講話やグループワークなどを通して必要な知識を学ぶことができます。

講師の派遣は無料です。気軽に問い合わせください。

〈問い合わせ先〉
商工観光課 商工観光係
☎ 45-2213

消費生活相談窓口のお知らせ

「断っても強引な勧誘が続く」「無料と聞いたのに高額な請求をされた」など、消費者トラブルで困った時は、ひとりで悩まずに喜多方市消費

生活センターへ相談ください。予約は不要で、電話および来所による相談を受け付けています。相談は無料です。で、気軽に相談ください。

◆相談専用電話

0241-24-5353

◆受付時間

- 月曜日～金曜日
①午前9時～正午
②午後1時～午後4時

◆注意事項

- 相談をスムーズに進めるため、事情の分かる本人からの相談をおすすめします。
- 契約書・保証書・パンフレットなど相談に関する資料がある場合は持参ください。
- 提供された個人情報、相談処理に利用し、本人の同意を得ずに他の目的で利用することはありません。

〈相談・問い合わせ先〉

喜多方市消費生活センター
☎ 0241-24-5353



県森林環境税の名称が変わります

県では、森林を全ての県民で守り、次の世代に引き継いでいくための財源として、福島県森林環境税を導入しています。令和8年度から、県森林環境税は次の通り変更となるためお知らせします。

◆名称の変更

(旧名称)
福島県森林環境税

(新名称)
ふくしま森林づくり県民税

◆課税期間の変更

令和12年度まで延長

〈問い合わせ先〉

税の使途に関すること
県庁森林計画課

☎ 0245-21-7425

税の仕組みに関すること
県庁税務課

☎ 0245-21-7067



県不妊セミナー開催のお知らせ

もしかしたら、不妊かな？

と思っても、病院へ行く勇気が出ず、悩んでいますか？

県では次のとおり、動画配信による不妊セミナーを開催します。納得のいく選択をするためにも、女性の体や健康、妊娠や不妊治療などについての正しい知識を身に付けましょう。

◆対象

不妊治療について学びたい人
※不妊治療を受けている人またはこれから考えている人など

◆配信期間

11月29日(土)から
12月26日(金)まで

◆内容

生殖医療の基礎知識など



また、医師・不妊カウンセラーによる個別相談会も実施します。妊活や不妊で悩んでいることについて、話してみませんか。

◆対象

県内在住の人

※相談は当事者に限ります

◆開催日時

12月中の指定日

※予約画面で確認してください

◆対応者

福島県立医科大学附属病院
生殖医療センターの医師
または不妊カウンセラー

◆相談例

不妊の検査や治療について知りたい、今の治療が続いて良いか意見を聞きたい、不妊治療を始めるか悩んでいるなど
※相談方法は、電話またはオンライン面談です

個別相談の

予約はこちらから▼

〈問い合わせ先〉

県不妊専門相談センター
☎ 0245-47-1452





集落支援だより

皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊 集落支援担当の佐々木です。

今月は奥川地区で開催されたイベントについて紹介します。



地域おこし協力隊 集落支援担当

ささき かずよ
佐々木 和代 隊員

歴史と文化にふれる 「岩屋虚空蔵尊祭礼」

9月13日、奥川・出戸自治区にて「岩屋虚空蔵尊祭礼」が行われました。虚空蔵尊建屋は約500年にわたり町や集落の皆さんによって大切に守られ、町の重要文化財である木造虚空蔵菩薩座像が祀られています。集落の歴史を感じる貴重な場所です。

当日は、ZEN大学や福島大学・岩崎ゼミの学生をはじめ、約40名が参加。学生たちは慣れない山道を登りながらも、自然の美しさと静けさを楽しみ、約30分かけて岩屋を目指しました。岩屋では、集落の人から説明を受けたり「おびんずる様」を持ち上げる体験をしたりと、集落の文化に触れる貴重な機会となりました。

私たち集落支援チームは道案内を担当し、岩屋までの道を2〜3往復して参加者の皆さんのサポートを行いました。参加後には、赤飯のおにぎりがるまわれ、地域の皆

さんとの温かな交流も生まれました。
来年の祭礼に向け、引き続き集落とのつながりを大切にしていきたいと思っています。



▲岩屋虚空蔵尊祭礼にて福大生の皆さんと

黄金色の田んぼで 秋の実りを体感！

10月5日、春に田植え体験をした田んぼで稲刈り体験をしました。前日の夜には、奥川みらい交流館で交流会が開かれ、カレーを食べながら参加者同士の親睦を深めました。当日は、朝から小雨まじりの空模様でしたが、開始時には雨も上がり、無事に稲刈りを実施。参加者の多くは奥川に何度も訪れているリーダーの皆さんで、今回は



千葉商科大学の教授・学生もフィールドワークの一環として加わり、にぎやかな雰囲気の中作業が行われました。
参加者の皆さんは、岩橋集落支援員から鎌の使い方や稲束の縛り方のレクチャーを受け、ぬかるんだ田んぼに足を取られながらも真剣な表情で稲を刈り取りました。皆さんからは「思った以上に大変だった」「お米のありがたさが改めて感じた」といった声があり、貴重な体験となったようです。

作業後は、収穫した田んぼを眺めながら、あぜ道でおにぎりを頬張る昼食タイム。自然の恵みに感謝しながらのおにぎりの味は格別でした。



私にとって、移住後初めての冬がすぐそこまで来ています。不安もありますが、それ以上に、しみみ気持ちも大きいです。奥川に来てから運動量も増え、地元の美味しい食べ物にも囲まれて以前よりずっと健康的な生活を送っています。

これから訪れる雪国ならではの暮らしをしっかりと体験しながら、元気に冬を乗り越えていきたいと思っています。

これだけは知っておきたい！



血圧とヒートショック 対策のポイント



寒い季節になると、自宅内でも健康リスクが高まることを知っていますか。
今回はヒートショックと血圧の関連性、その対策についてお知らせします。

ヒートショックの予防には 温度管理が大切です

「ヒートショック」は寒暖差が原因で心臓や血管に負担がかかり発症します。命の危険がある場合もあり、予防のためには室内温度の調節が欠かせません。

○浴室や脱衣所、トイレ、廊下など
寒暖差が大きい場所には暖房や電気ヒーターを設置する

○湯船にお湯を張って浴室を暖める

○居間などの扉を開けて暖気を
脱衣所へ回す

○入浴時の湯温は 40℃ 程度のぬるめに
設定する

また、温かいお茶や白湯などの飲み物で心身ともに温まることも効果的です。体に負担を与えない環境づくりをすることが、ヒートショックの予防につながります。



血圧が変動しやすい冬は特に注意！

冬場は血圧の急激な変化が見られ、脳卒中や心筋梗塞のリスクが高まります。寒い外気に触れると血管が縮まり血圧が上昇しやすいからです。血圧管理は年中行うべきものですが、日頃から自分の血圧を把握して、安定した体調管理を行うことが重要です。

○血圧は、毎日・同じタイミング・条件で測定し、日々の変化を確認しましょう

○家族や友人と互いの健康状態に気を配り、注意を怠らないようにしましょう



ヒートショック

ヒートショックと血圧対策 を日常に取り入れるには？

check!



冬の血圧を適切に管理し、ヒートショックを予防するためには、「生活習慣」を少しずつ改善することもポイントです。

○塩分を減らした食事で過度な血圧上昇を防ぐ

○室内でできるストレッチや体操など適度な運動を取り入れる

○部屋や廊下での寒暖差を減らし、温度を均一に保つようにする

健康づくりの基本は毎日の習慣や環境を整えることです。

小さな工夫を積み重ねて安全に健康的な冬を過ごしましょう。

町では、「自動電子血圧計購入費補助事業」を実施しています。
詳しくは健康増進課（TEL45-4532）までお問い合わせください。

戸籍の窓口 (10月受付分)

■ まちの人口

	11月1日現在	(前月比)
人 口	5, 2 7 2 人	(- 6 人)
男	2, 5 8 3 人	(- 5 人)
女	2, 6 8 9 人	(- 1 人)
世 帯	2, 4 3 8 世帯	(+ 2 世帯)

■ お悔やみ申し上げます

和久井クニ子 (93)	庸吉	母	4町内
高橋 ナミ (97)	健助	母	9の1
薄上 清七 (95)	梢	父	上小島
大久保 忠則 (87)	直純	父	さゆりが丘
新田 啓一郎 (75)	塚原 学	父	程窪
渡部 謙一郎 (87)	寅雄	父	黒沢
長谷川とく子 (76)	義一	妻	杉山
荒海 廣意 (87)	広幸	父	小綱木



◀野沢地区での紅葉
(撮影：11月6日)

Dream

聞いて！わたしの夢



[西会津中 1年・生徒会総務]

さいとう たいが
齋藤 大我 さん

◆私の夢——

僕は、マラソンの選手になりたいと思っています。なぜなら、僕は走ることが好きで、学校の駅伝部にも入っています。そして、ふくしま駅伝の練習にも参加しています。

しかし、最近では、学校の先生もいいなと思っています。なので、マラソンの選手か学校の先生、どちらかになりたいです。

◆努力していること——

マラソンの選手になるために心掛けていることは、毎日の食事です。

なぜなら、食事は人の体のエネルギーなので、走るためには人一倍、気にしないといけないと思っています。

◆未来の自分に一言——

将来やりたいことは、達成しましたか？
頑張って練習に取り組んでいますか？

中学生の僕も、部活などの練習をきちんとやっていますよ。これからもマラソンの選手になれるように頑張ります。

Person

町民バトンタッチ

いしかわ いくこ
石川 育子 さん [1町内]

◆趣味

ピアノを弾く

◆特技

どこでも寝れる

◆熱中していることは？

推し活

◆自分を一言で表現すると？

のんびりしている

◆あなたのモットーは？

健康第一

◆最近感動したことは？

こども園のマラソンごっこで
子どもたちが一生懸命走っている姿

◆これからやってみたいことは？

親孝行、友達と旅行に行く

◆次の方を紹介してください

T・Iさん



とっておきの物は？

藤子・F・不二雄作品が好きでグッズを集めています。
ドラえもんが多いです（笑）



大沼 宏美さん (11月号)
からメッセージ

また、コンサート
一緒に行きましょう



Column

協力隊リレーコラム

移住して半年

みなさんこんにちは。4月から有害鳥獣担当として役場 農林振興課にて活動しております内田です。

半年の活動を振り返ってみると、電気柵の設置補助・サルの電波を追うパトロールや花火での追い払い・捕獲されたイノシシやクマの処理などなど、これまで経験のなかったことの連続でした。

またプライベートでは、尾野本の運動会や、野沢の祭礼などのイベントに誘っていただきました。この間のふるさとまつりでも声をかけてくださる方もいて、知った顔も増えてきたなど嬉しく思います。

まだ紅葉が始まった秋の入り口ですが、これから豪雪地帯で過ごす初めての冬がやってくることを考えると戦々恐々しております。

今後も鳥獣について、西会津について学びながら活動していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



うちだ ひろき
内田 浩紀 隊員

千葉県出身。
有害鳥獣担当として、
町役場 農林振興課で勤務。

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その99

安座の八蛇沼伝説は本当だった？

文：田崎 敬修

『にしあいづ物語 100 選 その 46 「安座集落・八蛇沼の大蛇伝説」』にて、昔、安座は大きな沼で大蛇が住んでおり沼沢湖と繋がっていたという奇想天外とも思える伝説を紹介しました。

安座の景観は少し変わっていて平坦な水田面から急に険しい山々がそそり立っているのです。このような景観は長野の日本アルプスの縮小版を見ているようで会津では稀です。どうしてこのような景観が誕生したのでしょうか。牧から安座に安座川をさかのぼっていき、磐越自動車道高架橋を過ぎ急坂にさしかかった辺りで道路右端の崖下をのぞくと、眼下に安座川が目もくらむようなV字谷（峡谷）を目の当たりにします。これは安座川が平地の高さになるよう山地を下方浸食しているため、別に不思議ではありません。やがて道は平坦になり前方に下安座集落が見えてきます。この場所は標高約 250 mで、安座集落の入り口にあたる下安座（標高 245 m）より 5 m程高くなっています。安座地内の安座川は下方浸食を全くしておらず、坂の途中で見て来た深く浸食されたV字谷の連続が見られるはずなのにどうしたことでしょうか。

その謎は下安座集落が見えてきた標高約 250 mの平坦地付近の安座川を見てみると解けます。安座川が大量の土石でダム状に堰き止められているのです。この土石は安座川の東南に位置する宮ヶ岳（485.6 m）の北東に伸びる尾根の剃刀の刃のように切り立っている部分から崩落してきたものです。この山体崩壊が起こる前の安座は、安座川が約 1600 万年前に堆積した滝沢川層と呼ばれる凝灰岩類の柔らかい岩質の山体を深く浸食したV字谷でした。山体から崩落した大量の土石は下安座付近でダムを作り安座川を堰き止め、V字谷は日に日に水で覆われ水底には安座川が運んでくる凝灰岩類の細粒堆積物がどんどん堆積していきました。八蛇沼伝説が生み出された景観の誕生です。

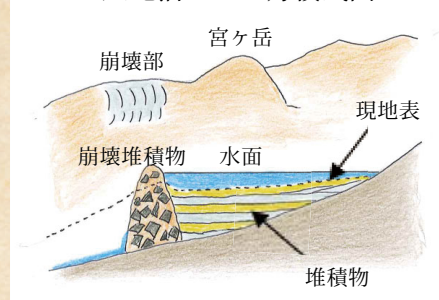
やがてダムの一部が決壊し、満々と水を貯めていた八蛇沼の水が抜けて現在の地形面が現れます。大蛇やムカデがいたかどうかはさておき、安座が大きな沼だったことは本当でした。

安座の河床面がほとんど下方浸食されていないのは現在のダムの高さが浸食基準面となっているからです。宮ヶ岳の山体崩壊は地震が原因と思われます。時期については不明ですが、それほど古くはないのかもしれませんが。

※訂正

前号の初代野沢町長 斎藤兵鬼千氏の名前の読み方は「へいきち」ではなく「ひょうきち」でした。

八蛇沼のでき方模式図



今月の表紙

今月の表紙は、10月25日・26日に行われたふるさとまつりから。秋晴れの空の下、訪れた皆さんが楽しんでいる姿がとても印象的でした。

編集後記

ポインセチアやシクラメンが店頭を彩る季節となりました。子どもたちは、クリスマスや雪が降ることを心待ちにしている一方、私たち大人は大雪になるのでは...と、ちよっぴり心配しつつ冬本番の準備に追われる毎日です。寒さ対策を万全にして、この冬も元気に乗り越えたいですね。（三留）

